

〔寛明日記〕承應三歲正月三日、諸町人御禮有之、

〔萬天日録〕寛文三年二月廿八日、長崎町年寄參上、天鵝絨十端、町年寄高崎四郎兵衛、縮緬二十卷

鵝毛二端、同市右衛門、紅絲五斤、長崎總代池田市郎兵衛

右何モ落椽ニテ、一同ニ御禮、

〔玉露叢三十九〕延寶三年分ノ參勤御暇ノ扣上、

一同日〇二月十七日ニ、長崎ノ町年寄高嶋四郎兵衛、鷲毛十卷、縮緬廿卷ヲ捧上シテ御目見、〇中

一三月廿一日ニ、銀座年寄野村新兵衛御暇ニ付テ、小袖二ヲ賜フ、

〔萬天日録〕天和二年二月十五日、年頭御禮、〇中御十、上林竹庵、縮緬三十卷、綸子十卷、長崎町年寄高木平

九郎、扇子、伊勢隼人、

三年正月三日、辰下刻ニ御白書院へ出御、〇中次ニ御白書院下段御フスマ障子明之、下段ニ立御、

御次ノ間御疊縁ニテ、當所町年寄三人、進物前ニ置之居ス、同所御小性組御番所ノ内ヨリ南ノ御

疊椽通マデ、當所ノ町名主數輩並居、前一通ニ進物ノ品々置之、并落椽ニテ上京、下京、伏見、淀、過書、

大坂堺、奈良、右町ノ年寄共、總町、總代、朱座、銀座、大黒、長左衛門、墨屋、若狹、秤屋、守隨等、進物前ニ置、一

同ニ御目見、奏者御番披露之、則入御、

〔洞房語園〕上吉原開基之次第、御煤拂御疊替に、例年人步出之、御年頭獻上ノ事甚右衛門の、〇傾城町

主總名時より今に至る迄、奉指上事私ならず、

〔幕朝年中行事歌合〕上十四番、左、新年勅使參向

にほひくる大内山の花にまた春とこたふるみねのまつ風、〇中

右、勅使饗宴

さくら花かざす春心に成ぬとや大みや人にみあへすらしも

勅使參向